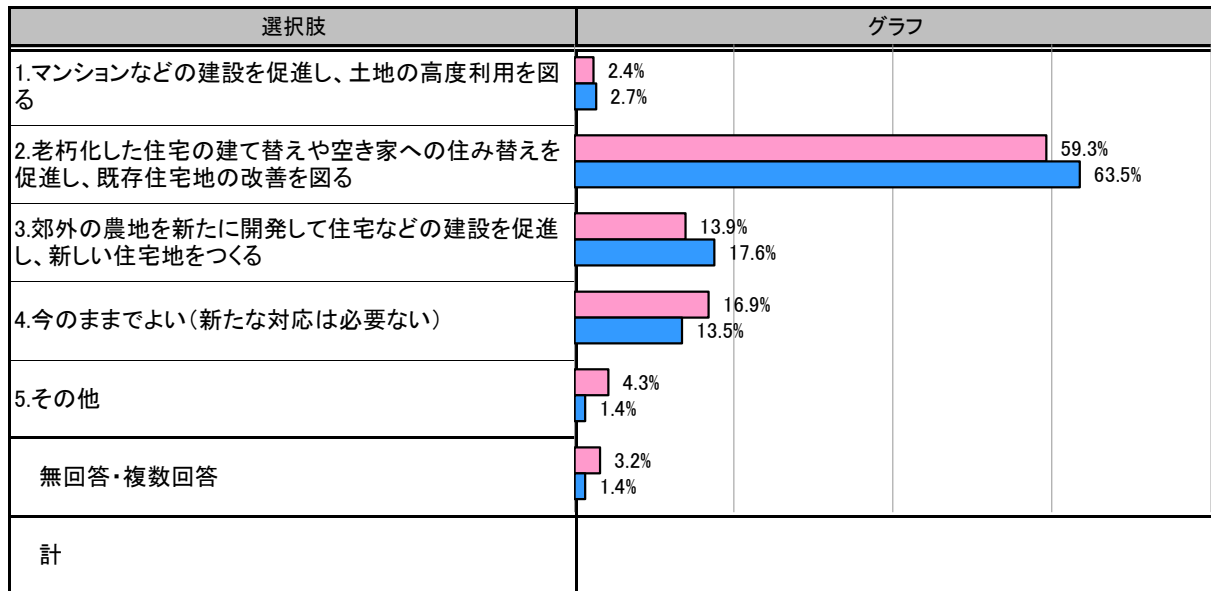


Ⅲ. 将来(おおむね20年後)の名護市全体のことについてお尋ねします。

問4 今後、特に重要だと思うものはどれですか。[それぞれの項目で1つに○印]

- ◆「老朽化した住宅の建て替えや空き家への住み替えを促進し、既存住宅地の改善を図る」が最も多く63.5%と半数以上を占めている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

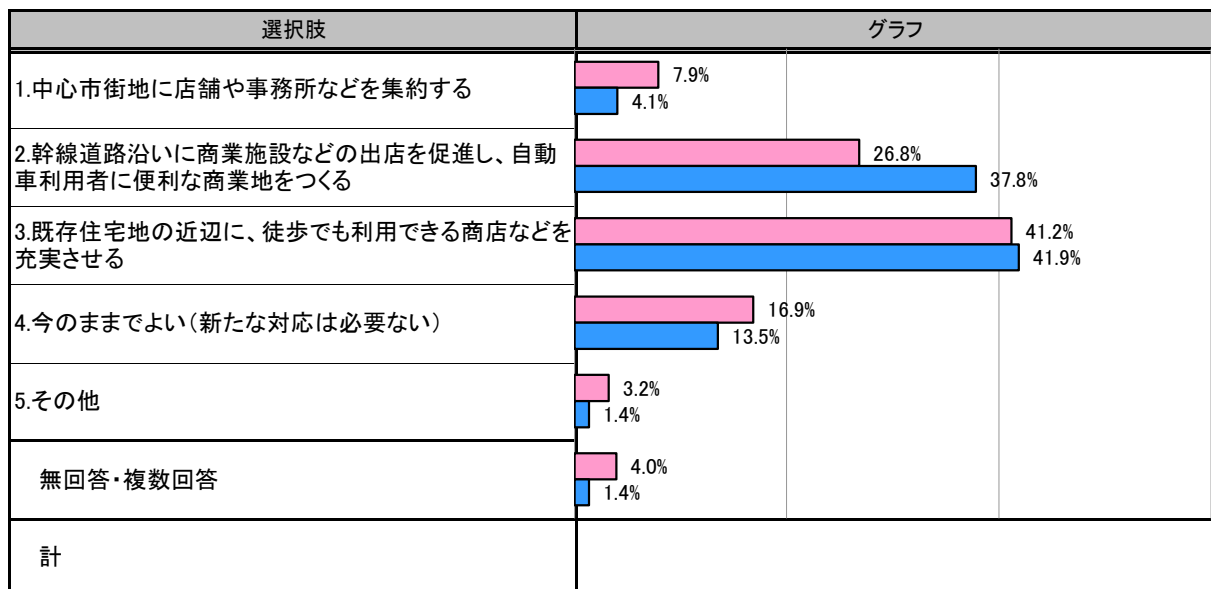
【住宅地について】



■市全体 ■久辺地域

- ◆「既存住宅地の近辺に、徒歩でも利用できる商店などを充実させる」が41.9%と最も多く、次いで「幹線道路沿いに商業施設などの出店を促進し、自動車利用者に便利な商業地を作る」が37.8%となっている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

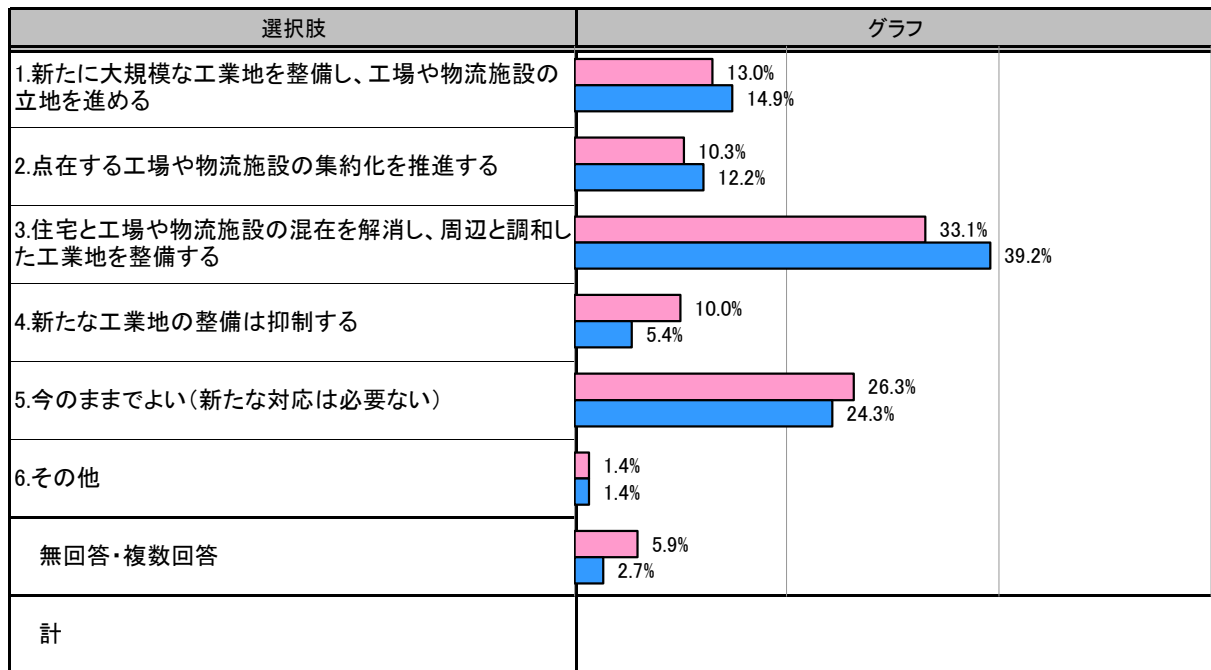
【商業地について】



■市全体 ■久辺地域

- ◆「住宅と工場や物流施設の混在を解消し、周辺と調和した工業地を整備する」が39.2%と最も多く、次いで「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」が24.3%となっている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

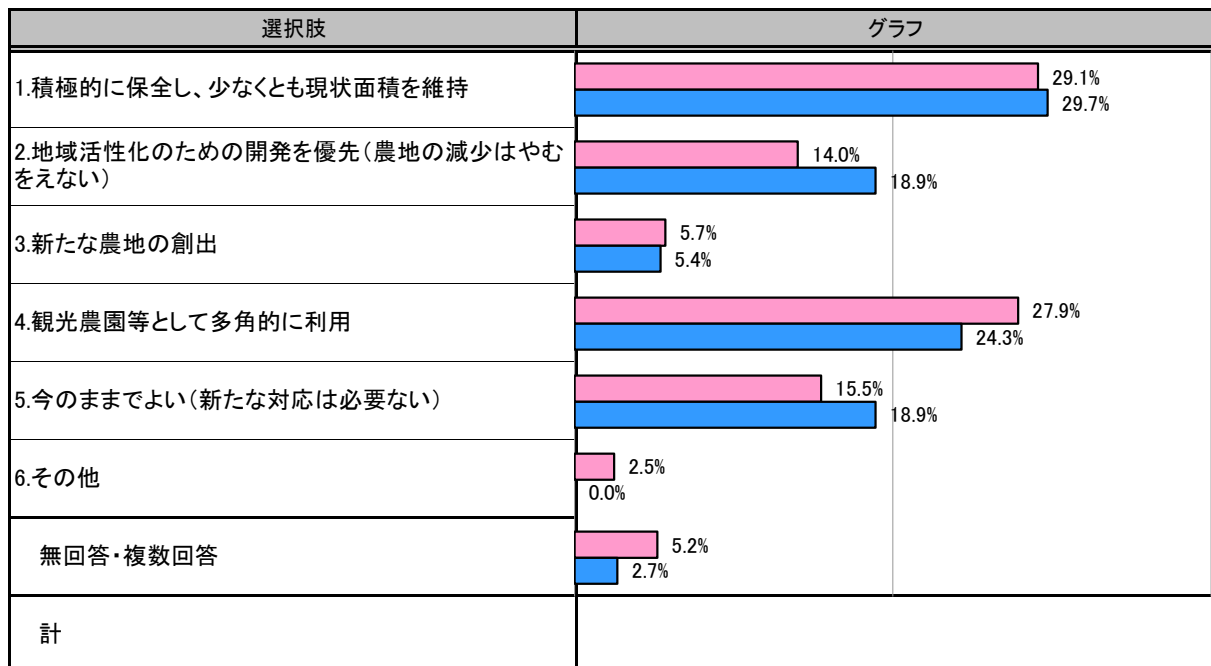
【工業地について】



■市全体 ■久辺地域

- ◆「積極的に保全し、少なくとも現状面積を維持」が29.7%と最も多く、次いで「観光農園等として多角的に利用」が24.3%、「地域活性化のための開発を優先(農地の減少はやむをえない)」と「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」が同率で18.9%の順となっている。
- ◆市全体と比較すると、「地域活性化のための開発を優先(農地の減少はやむをえない)」が高く、「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」と同率となっている。

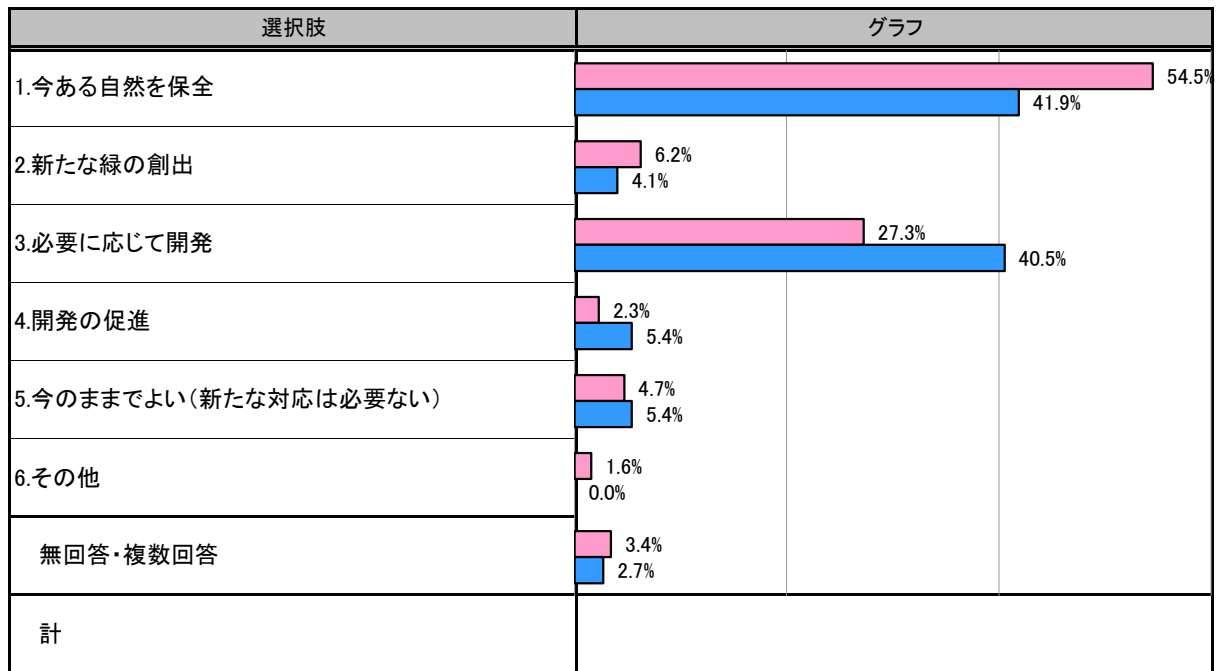
【農地の保全・活用について】



■市全体 ■久辺地域

- ◆「今ある自然を保全」が最も多く、41.9%と最も多く、次いで「必要に応じて開発」が40.5%の順となっている。
- ◆市全体と概ね同様の傾向にあるが、「今ある自然を保全」が約13%低く、「必要に応じて開発」は約13%高くなっている。

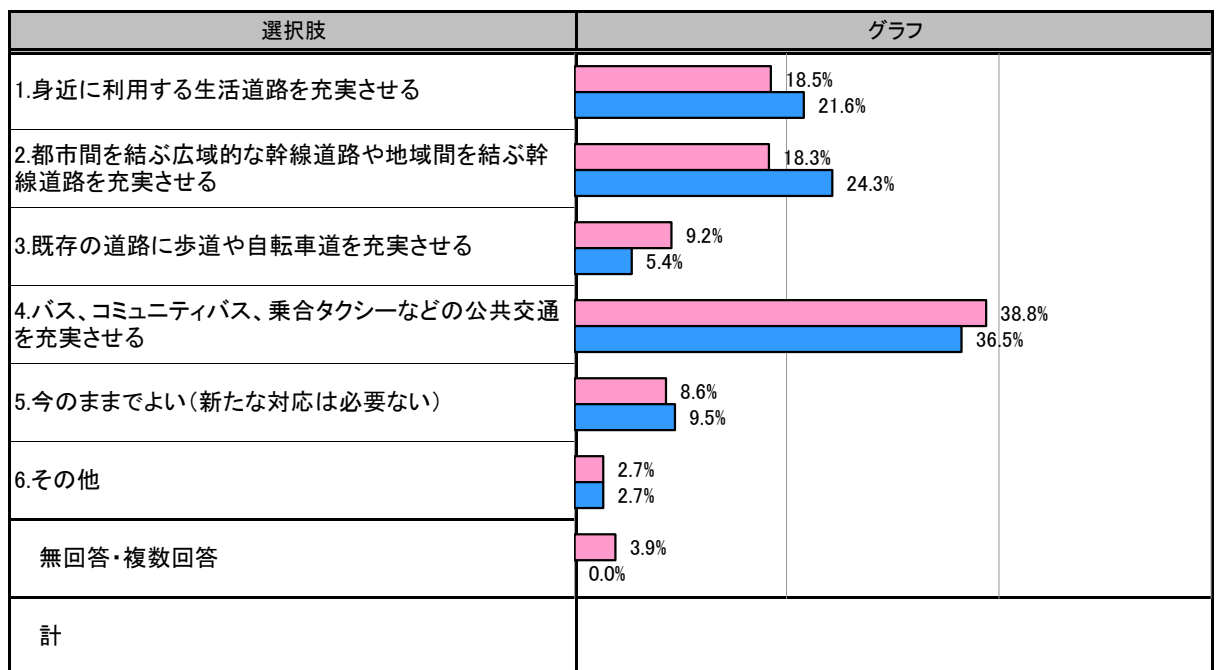
【森林や海、河川などの自然について】



■市全体 ■久辺地域

- ◆「バス、コミュニティバス、乗合タクシーなどの公共交通を充実させる」が36.5%と最も多く、次いで「都市間を結ぶ広域的な幹線道路や地域間を結ぶ幹線道路を充実させる」が24.3%、「身近に利用する生活道路を充実させる」が21.6%となっている。
- ◆市全体と概ね同様の傾向にあるが、「都市間を結ぶ広域的な幹線道路や地域間を結ぶ幹線道路を充実させる」が「身近に利用する生活道路を充実させる」よりも上位となっている。

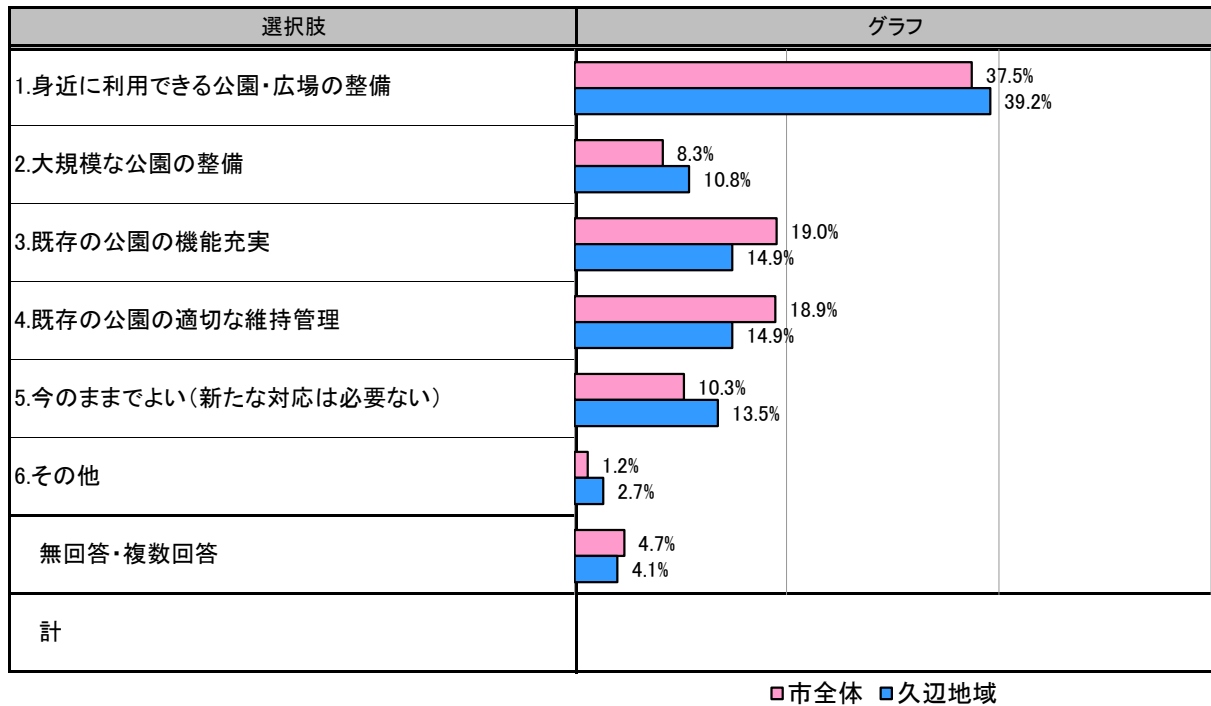
【道路・交通について】



■市全体 ■久辺地域

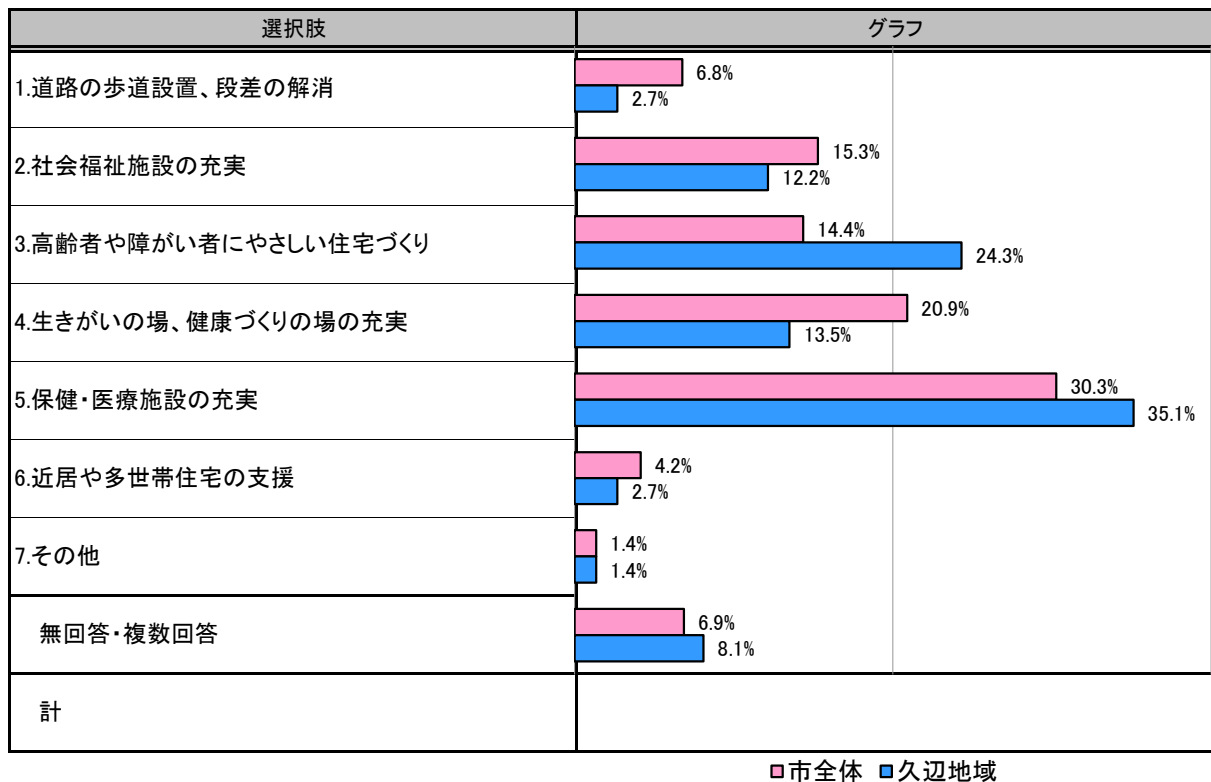
- ◆「身近に利用できる公園・広場の整備」が39.2%と最も多く、次いで「既存の公園の機能充実」と「既存の公園の適切な維持管理」が同率の14.9%の順となっている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

【公園・緑地等について】



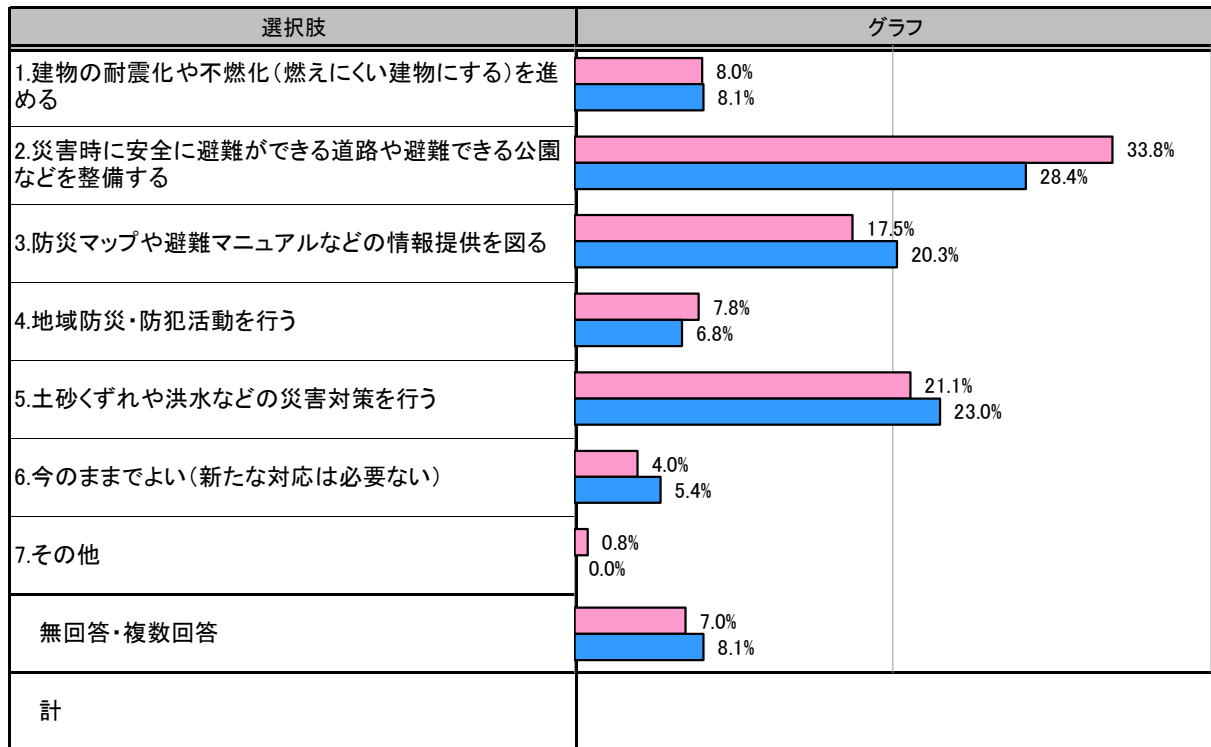
- ◆「保健・医療施設の充実」が35.1%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者にやさしい住宅づくり」が24.3%、「生きがいの場、健康づくりの場の充実」が13.5%の順となっている。
- ◆市全体と比較すると、「高齢者や障がい者にやさしい住宅づくり」が高く、「生きがいの場、健康づくりの場の充実」よりも上位となっている。

【高齢社会への対応】



- ◆「災害時に安全に避難ができる道路や避難できる公園などを整備する」が28.4%と最も多く、次いで「土砂くずれや洪水などの災害対策を行う」が23.0%、「防災マップや避難マニュアルなどの情報提供を図る」が20.3%の順となっている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

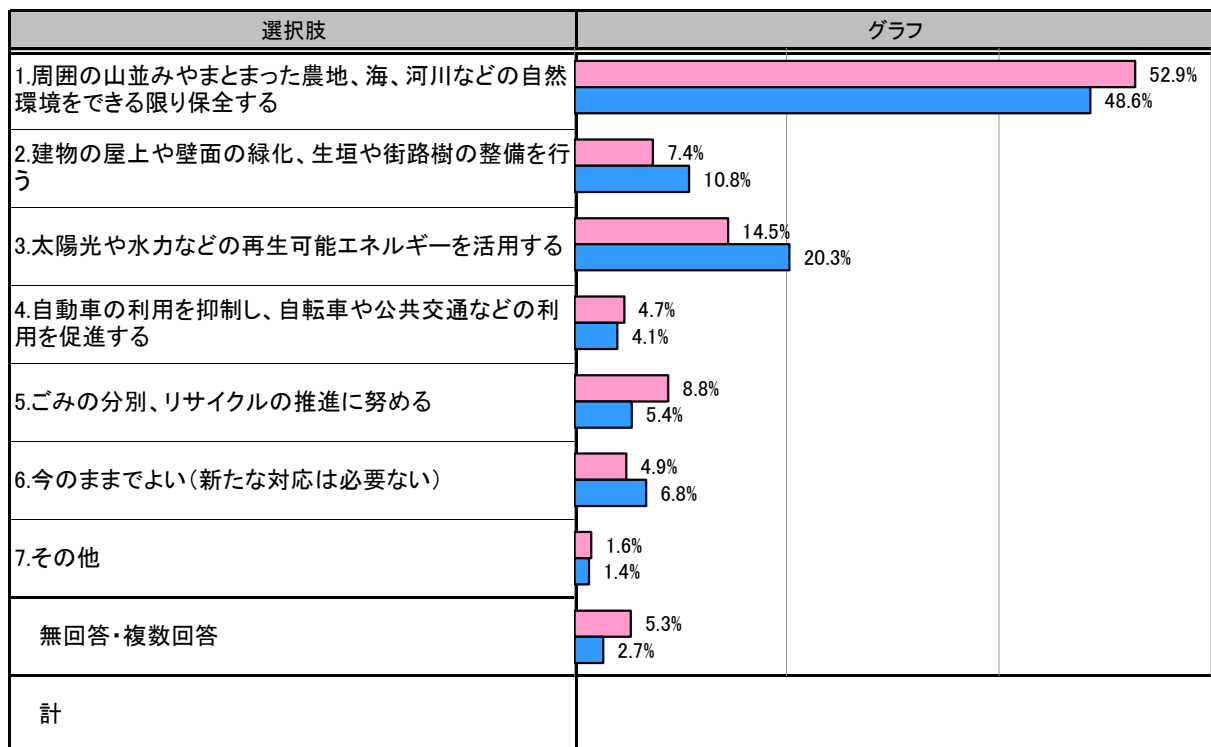
【防災のあり方】



■市全体 ■久辺地域

- ◆「周囲の山並みやまとまった農地、海、河川などの自然環境をできる限り保全する」が最も多く、48.6%と全体の半数近くを占めている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

【環境のあり方】



■市全体 ■久辺地域